

森づくり最前線

天竜森林管理署 掛川森林事務所 森林官 幾井 美雪



国有林周辺に広がる茶畑



タイラ沢の大滝(森町自然百選の一つ)

私の勤務する掛川森林事務所は、静岡県西部の掛川市、袋井市、磐田市、菊川市、御前崎市及び森町の5市1町を管轄しています。

管内の国有林は、東海道本線を境に北と南の二つの地区に分かれています。

南に位置する小笠地区は、掛川市及び袋井市の両市にまたがる小笠山（標高264㍎）の南西に広がり、国有林面積は約722㍎で、ほぼ全域が土砂流出防備保安林に指定されています。スギ・ヒノキの人工林率は約20%で、天然林が多く、森林と人との共生林として小笠山自然観察教育林等を設定し、保健・教育的な利用の場を提供しております。

国有林の周辺には、茶畑が広がり民家も点在しており、林内の散策や散歩・ランニングコースになっているなど、地域の人々との生活と密接な関係にあります。農道を利用させていただいたり、自治体及び自治会等との関わりも重要であり、良好な関係の維持に努めています。

近くには「掛川城」、Jリーグ・ジュビロ磐田の準本拠地の「静岡スタジアム（エコパ）」、ヤマハリゾート「つま恋」などの観光施設等もありイベントの際には大勢の人が訪れます。

また、市街地に近いこともあって、ゴミの不法投棄が悩みの種です。自治体及び自治会等で撤去やフェンスの設置など協力していただいておりますが、対策が追いつかない状態です。今後も不法投棄防止のため巡視を強化し、啓発に努めていきたいと考えています。

北に位置する霊巖・平沢・黒俣地区は、静岡森林管理署管内の島田市と境を接する掛川市、森町の国有林432㍎を管理し、八高山（標高832㍎）、大日山（標高881㍎）周辺にあり、ほぼ全域が水源かん養保安林に指定されています。平沢地区を除き、スギ・ヒノキの人工林率は約90%で、間伐等の手入れが必要な時期を迎えている森林が多くあるため、森林整備を進めています。

南方の国有林とは対照的に、市街地とは離れていますが、昨年完成した「太田川ダム」では、貯水が始まり林道が沈んでいく光景から最高水位試験まで見るという貴重な体験ができました。ダム湖は、「かわせみ湖」として整備され、国有林内にある「杉沢の大滝」へのアクセス道も良くなったことから、散策に訪れる人達が増えてくるものと思います。

また、何年かに一度凍結するといわれる、森町自然百選の「タイラ沢の大滝」は、凍結した時には写真撮影に多くの方が訪れます。

管内の国有林は、このように地元の人達の生活と密接な関係にあるので、皆さんの声に耳を傾け、国有林への理解が一層広がるよう努めていきたいと考えています。



太田川ダムの最高水位試験状況



杉沢の大滝(雨天後)